

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 803 号	氏名	Yombo Dan Justin Kalenda
学位審査委員	主 査	平 山 謙 二	
	副 査	中 込 治	
	副 査	由 井 克 之	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、アフリカで猛威を振るうマンソン住血吸虫症の血清診断に有用な抗原分子を同定しようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ゲノムデータから一定の遺伝子配列を繰り返すタンデムリピートを含む遺伝子をバイオインフォーマティクス的手法により探索した。その上で、分子構造あるいはヒト遺伝子との非相同性などを考慮し、7つの遺伝子のリピート単位を虫卵および虫体 mRNA より PCR 法により増幅した。これをクローン化したのち、大腸菌により組換えタンパク質を作製した。これら発現タンパク質の抗原性を感染マウスの血清を用いて解析した。これらの研究手法はいずれも妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、これらの組換えタンパク質は一定の抗原性を有し、虫卵や虫体の粗抗原と同様の抗体反応性を示した。感染後虫体が門脈内で成熟し産卵を盛んに行う 11 週目で完全に治療した場合、この 7 種の抗原のうち、4 種が治療後に抗体価が低下し、16 週目でほぼ検出しなくなった。本研究は寄生虫由来組み換え抗原の新たな作製法の有効性を示したと同時に、現在世界的に展開されている集団治療による撲滅対策の際の治療効果のモニタリングに有用な血清診断抗原を作出したものであり、今後の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は寄生虫病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			